



## 2年で年商156億円を達成した 中国出身の女性経営者

[取材・文] 原 正紀

株式会社クオリティ・オブ・ライフ代表取締役、特定非営利法人キャリアコンサルティング協議会常務理事、事務局長。一般社団法人留学生支援ネットワーク理事、一般社団法人産学協働人材育成コンソーシアム理事、事務局長。高知大学経営評議会委員、客員教授。中小企業診断士。早稲田大学法学部卒業後、株式会社リクルートを経て起業し、人材事業を運営において展開。公的委員多数歴任。「インタビューの教科書」(河出書房)をはじめ、著書多数。

### HARRA's BEFORE

高級美顔器メーカーの経営を引き継ぎ、わずか2年で売上156億円を達成した金松月さん。中国人留学生として来日後、会社経営の経験がない中で、どのようにして短期間でトップクラスの結果を出したのだろうか。波乱万丈の軌跡とともに、その経営哲学と戦略を聞いた。



### チャレンジングな経営哲学で 高級美顔器メーカーのトップに

原：まずは事業の現状について教えてください。

金：当社は家庭用の高級美容機器や美顔器の製造販売がメインの事業であり、「美と人の、可能性へ。」をコンセプトとして、家電を超えたラグジュアリーブランドを目指しています。他社との違いは、まず高価格帯での強さです。10万円を超える価格帯では、日本国内のシェアは約8割を占めています。数量的にはまだまだ少ないですが、業

界の最高峰で先端を行く美顔器づくりを行っています。

原：会社経営を任せられて、わずか2年で年商156億円を達成したそうですね。

金：先代社長が創業したのは15年前で、当時はエステサロンなどに販売することが主体でした。私は、初めは経理兼通訳として入社し、今年で8年目になります。最初の頃は在庫も漏れていて会社の業績も厳しく、「自分ができることは何か」と考え、営業したところ、中国企業を相手に超大型受注に成功し、ダントツの実績を上げてしましました(笑)。中国語や韓国語を話せるため、海外の市場にも行けるところが強みでした。

いいものを作ることについては100%仲間を信じていたので、それが営業活動の結果につながったと思います。どういう人が買っているのかをいつも現場で観察していたら、それを見ていた先代社長から「海外市场向けの新会社のトップをやってくれ」と頼まれ、社員3名の新会社として「ARTISTIC&CO. GLOBAL」が、2017年にスタートしたのです。当時の本体の売上規模は10数億円でした。せっかく任せられたのだからと半分の5億円を目標に定めて始めたところ、初年度から本体の倍以上の25億円ほどの売上になりました。海外に出